

政策分野 2

産業・活力

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 3	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	政) 政策企画部
------	-------	------	--------------	------	-----------------------	-----------

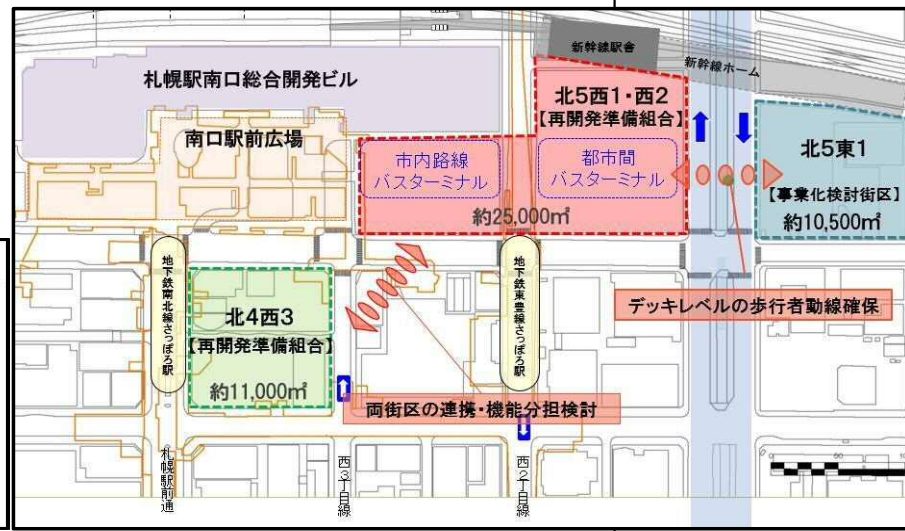
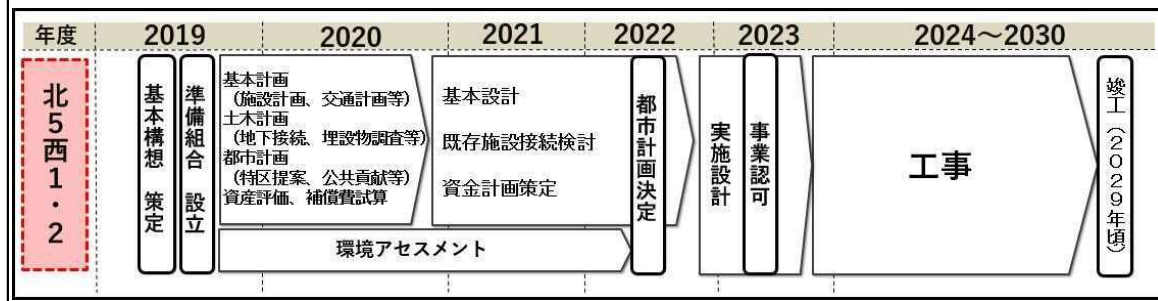
(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
札幌駅交流拠点 まちづくり推進	169,000 (167,333)	333,000 (329,000)	333,000 (329,000)	特定財源 国庫支出金 4,000	① 北5西1・西2地区の 検討推進 ② 北5東1地区の検討 支援 ③ 街区間連携連絡会議 等 ④ 北4西3地区の検討 支援	150,800 4,200 2,349 11,651	325,500 4,900 2,600 0	325,500 4,900 2,600 0	【特定財源】 国庫補助金 社会資本整備総合交 付金 (補助率:1/3)
目的・取組内容									
札幌駅交流拠点及び周辺街区の事業化に向け、官民共同 で検討を推進									
					計	169,000	333,000	333,000	

事業内容

- ① 北5西1・西2地区の検討推進 325,500 → 要求のとおり
準備組合負担金310,000、街区間連携12,000、鑑定評価3,500
- ② 北5東1地区の検討支援 4,900 → 要求のとおり
- ③ 街区間連携連絡会議等 2,600 → 要求のとおり

■ 事業スケジュール



分野 2	産業・活力	目標 6	産業分野の人材を育む街	施策 1	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	市) 市 民 生 活 部
------	-------	------	-------------	------	---------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
アイヌ政策推進 交付金関連	27,000 (21,266)	114,000 (25,194)	114,000 (25,194)	88,806	① 【拡充】アイヌ関係施設リフレッシュ ② 【拡充】アイヌ伝統文化振興	1,000 26,000	43,000 71,000	43,000 71,000	【特定財源】 国庫交付金 アイヌ政策推進交付金 (交付率:4/5) ※地方負担分1/5については特交措置あり(措置率1/2)
目的・取組内容									
アイヌ政策推進交付金を活用した、アイヌ文化の振興等に係る取組の実施									
					計	27,000	114,000	114,000	
事業内容									
① 【拡充】アイヌ関係施設リフレッシュ 43,000 → 要求のとおり					【その他交付金事業】				
■ 展示物の更新等 16,663					■ 文化部				
ポンチセの建替え、チセ内展示物の制作					札幌国際芸術祭事業				
■ 中庭等リニューアル 3,456					アイヌ関連施設を含むバスツアー				
アイヌ文化交流センター(ピリカコタン)の中庭及びレストコーナーをアイヌ食文化の発信スペースとしてリニューアル					11,800千円				
■ 【新規】展示案内の多言語化 22,881					■ 学校教育部				
説明プレートの制作、展示物ガイドアプリの導入、Wi-Fi整備					教育課程等推進				
② 【拡充】アイヌ伝統文化振興 71,000 → 要求のとおり					ウポポイでの体験学習				
■ 【拡充】アイヌ伝統文化の紹介等 28,055					3,426千円				
公共空間等を利用した情報発信、ウポポイバスツアー等					■ その他 620千円				
■ アイヌ伝統文化体験プログラム 20,692									
小中高生団体体験プログラム等の実施									
■ アイヌ民芸品振興調査等 17,981									
常設店舗の設置検討に向け、販売会の実施やブランド化に向けた商品開発等									
■ アイヌアートモニュメント作成・設置 1,279									
市民参加によりアイヌアートモニュメントを制作、制作したモニュメントを札幌駅前地下歩行空間に設置									
■ 【新規】アイヌ施策推進計画改定 2,993 ※交付金対象外									
H22.9月に策定したアイヌ施策推進計画の改定					■ 全事業合計				
					126,853千円				
					交付金				
					(101,483千円)				

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 4	シティプロモート戦略の積極展開	市) 文 化 部
------	-------	------	--------------	------	-----------------	-----------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
国際芸術祭事業	118,000 (83,000)	406,000 (294,000)	401,000 (289,000)	特定財源 国庫支出金 94,440 寄附金 4,000	① 実行委員会負担金 94,000 ② 芸術祭担当部事務費 24,000 ③ 【拡充】アイヌ文化発信 0	94,000 24,000 0	372,700 21,500 11,800	368,658 20,542 11,800	【特定財源】 国庫補助金 文化芸術振興費 (補助率:1/2) 国庫交付金 アイヌ政策推進交付金 (交付率:4/5) 寄附金 文化芸術振興費 繰入金 文化芸術振興費 総務費雑入 総務その他雑入
目的・取組内容			繰入金 3,560 諸収入 10,000 計 112,000						
国際芸術祭(SIAF)2020開催に伴う経費					計	118,000	406,000	401,000	
事業内容									
① 実行委員会負担金 SIAF2020開催準備(札幌市負担金)		372,700	→	368,658	【査定】経費の精査				
② 芸術祭担当部事務費		21,500	→	20,542	【査定】経費の精査				【総事業費】 584,978千円 準備1年目(H30決) 66,452千円 準備2年目(R元決見) 117,526千円 開催年(R2予) 401,000千円
③ 【拡充】アイヌ文化発信 アイヌ交付金を活用したバスツアー及びアイヌ語による情報発信		11,800	→	要求のとおり					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【札幌国際芸術祭2020 開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期 R2年12月19日～R3年2月14日(58日間) ・テーマ 「Of Roots and Clouds:ここで生きようとする」 ・ディレクターチーム 企画ディレクター(現代アート担当)/統括ディレクター: 天野 太郎 企画ディレクター(メディアアート担当): アグニエシュカ・クビツカ=ジエドシヅカ コミュニケーションデザインディレクター: 田村 かのこ ・キュレーター 札幌芸術の森担当:佐藤 康平 北海道立近代美術館・mima 北海道立三岸好太郎美術館担当: 中村 聖司 アートメディアエーション担当:マグダレナ・クレイス ・主な会場 札幌芸術の森、札幌市民交流プラザ、北海道立近代美術館、 mima 北海道立三岸好太郎美術館、 札幌大通地下ギャラリー500m美術館、札幌市資料館、モエレ沼公園 </div>									

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 5	さっぽろ未来創造プロジェクト	ス) 招 致 推 進 部
------	-------	------	--------------	------	----------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
冬季オリンピック・パラリンピック招致関連	96,900 (91,900)	326,800 (321,800)	317,000 (312,000)	特定財源 国庫支出金 5,000	① 招致機運醸成・教育推進等 ② 【拡充】開催概要計画更新等 ③ 市民参加による開催概要計画検討 ④ 冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター誘致 ⑤ 都心部クロスカントリースキー大会実証実験 計	43,000 26,000 10,000 4,900 13,000 96,900	64,800 230,000 10,000 2,000 20,000 326,800	55,000 230,000 10,000 2,000 20,000 317,000	【特定財源】 国庫委託金 オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業費
目的・取組内容									
冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた機運醸成、計画の更新及び追加検討等									
事業内容									
<p>① 招致機運醸成・教育推進等 64,800 → 55,000 【査定】経費の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オリパラ教育推進のため、小学生を対象にオリンピックミュージアム訪問機会を創出(75校で実施) ■ 東京2020大会の成功を契機にメディア・オリンピック等との連携によりオリンピックムーブメントを推進し、招致機運を醸成(主な取組) ウィンタースポーツに取り組む子どもたちのテレビ番組の制作等 各種イベントと連携し、オリンピックの派遣等を実施 招致PR動画をSNSで配信するとともに札幌ドームで放映等 ■ 冬季オリンピック・パラリンピックへの賛否の意向など、オリパラ関係の市民アンケートを実施 <p>② 【拡充】開催概要計画更新等 230,000 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開催概要計画更新等 45,000 ■ 大会計画の調査検討 175,000 ・ 施設配置計画 ・ 大会運営(輸送、宿泊、警備等) ・ 持続可能性戦略 ・ 財務、マーケティング 等 ■ IOCとの対話等 10,000 <p>③ 市民参加による開催概要計画検討 10,000 → 要求のとおり 冬季オリパラレガシーなどをテーマとしたワークショップ・シンポジウム等の実施</p> <p>④ 冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター誘致 2,000 → 要求のとおり アスリートとの協力による冬季版ハイパフォーマンススポーツセンターの誘致</p> <p>⑤ 都心部クロスカントリースキー大会実証実験 20,000 → 要求のとおり 都心部におけるクロスカントリースキー競技の国際大会開催をめざした実証実験を実施</p>									
					<p>○都心部クロスカントリー大会概要(R1年度予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程:R2(2020)年2月16日(日) ・開催会場:大通公園6～9丁目 ・参加者:小中学生選手及び障がいのある方 ・種目:1.0kmスプリント(フリー走法)等 ・参加予定人数:約200人 ・観客想定人数:約6,000人 				

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 4	シティプロモート戦略の積極展開	ス) 招 致 推 進 部
------	-------	------	--------------	------	-----------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
東京2020 オリンピック・ パラリンピック 開催関連	67,000 (25,476)	864,761 (91,631)	806,000 (32,870)	773,130	①【新規】行政サービス 等 ②【拡充】オリ・パラ参画 事業 ③【新規】オリ・パラ体感 事業 ④ 事務費等 ⑤【新規】首都圏での札 幌魅力発信 計	0 41,524 0 25,476 0 67,000	230,831 144,095 454,004 25,831 10,000 864,761	217,554 139,180 416,396 22,870 10,000 806,000	【特定財源】 基金繰入金 東京2020オリンピック・ パラリンピック開催
目的・取組内容									
東京2020オリンピック・パラリンピック開催等									
事業内容									
①【新規】行政サービス等 ・運営経費等 ・交通広報 ・沿道の暑さ対策		52,311 58,531 20,780	230,831 → 46,666 → 19,460	→ 217,554	【査定】経費の精査 ・救急サービス ・路上喫煙防止等 ・テストイベントの実施	13,783 967 84,459	→ 78,147		
②【拡充】オリ・パラ参画事業 ・ボランティア ・沿道応援促進		78,544 41,071	144,095 → 77,629 → 37,071	→ 139,180	【査定】経費の精査 ・おもてなし ・広報宣伝等	15,980 8,500			
③【新規】オリ・パラ体感事業 ・競技観戦(ライブサイト運営等) ・競技体験イベント(各区体育館) ・シティドレッシング		191,827 26,285 127,252	454,004 → 190,927 → 22,897 → 120,800	→ 416,396	【査定】経費の精査 ・オリパラストリート設置 ・オリンピックミュージアム展 ・街灯装飾	63,240 30,000 15,400	→ 63,372 → 3,000		
④ 事務費等			25,831 →	→ 22,870	【査定】経費の精査				
⑤【新規】首都圏での札幌魅力発信 ・ジャパンハウスでのPR ・都内エリアでのPR		4,958 5,042	10,000 →	→ 要求のとおり					

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 2	創造性を生かしたイノベーションの誘発
------	-------	------	--------------	------	--------------------

経) 産 業 振 興 部

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
スタートアップ 創出支援	24,270 (24,270)	50,000 (50,000)	40,000 (40,000)		① 人材育成関係	8,220	8,350	8,350	【債務負担行為】 創業促進支援等 限度額:35,000 期間:R3年度
目的・取組内容					② 普及啓発・イベント出展	5,650	19,428	9,978	
「STARTUP CITY SAPPORO」事務局の運営を行い、 人材育成やグローバル展開など、スタートアップ企業の創出や 支援に向けた取組を実施					③ 相談窓口・運営経費等	10,400	12,344	12,344	
					④ 【新規】オープンイノベーション	0	9,878	9,328	
					計	24,270	50,000	40,000	

事業内容

- ① 人材育成関係 8,350 → 要求のとおり
 - ・ 高校生向け起業体験プログラム等 1,760
 - ・ 大学生向け起業プログラム 1,320
 - ・ Open Network Lab Hokkaidoへの支援 5,270
- ② 普及啓発・イベント出展 19,428 → 9,978 【査定】経費の精査
 - ・ HPの運用・保守等 2,090
 - ・ 海外を含むスタートアップイベントへの出展等 17,338 → 7,888
- ③ 相談窓口・運営経費等 12,344 → 要求のとおり

スタートアップ相談窓口や運営に係る経費等
スタートアップに特化した相談を受けるための窓口を月1回程度設置
(弁護士、弁理士、行政書士、中小企業診断士の4名程度を想定)
- ④ 【新規】オープンイノベーション 9,878 → 9,328 【査定】経費の精査

連携中枢都市圏の行政課題について、スタートアップ企業により解決を図る



行政×スタートアップ

スタートアップ企業との協働により、連携中枢都市圏の行政課題を解決

分野 2	産業・活力	目標 5	国内外の活力を取り込む街	施策 3	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	経) 産 業 振 興 部
------	-------	------	--------------	------	-----------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
企業立地促進	960,000 (960,000)	1,097,000 (1,097,000)	1,020,000 (1,020,000)		① コールセンター・バック クオフィス立地促進	289,300	293,800	217,800	
目的・取組内容					② IT・コンテンツ・バイオ 立地促進	132,000	173,300	173,300	
雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、 本社機能移転をはじめとした企業の立地等を促進					③ 【拡充】札幌圏設備投 資促進補助	517,555	603,837	603,837	
					④ 誘致広報関連・セミ ナー等	21,145	26,063	25,063	
					計	960,000	1,097,000	1,020,000	

事業内容

- ① コールセンター・バックオフィス立地促進 293,800 → 217,800 【査定】経費の精査
R元年度より、本社機能移転に係る人件費補助の上限拡充(最大20,000千円→最大50,000千円)
・ H29年度:新設 1件 計:10,000千円
・ H30年度:新設 5件 計:55,400千円
・ R元年度:新設 5 4件、増設 1件 計:62,400 39,400千円
・ R2年度:新設 5 4件、増設 1件 計:166,000 113,000千円
- ② IT・コンテンツ・バイオ立地促進 173,300 → 要求のとおり
R元年度より、人件費単価(50万円/人→100万円/人)や人件費補助上限を拡充(6,000千円→12,000千円)
・ H30年度:新設 2件 計: 7,500千円
・ R元年度:新設 7件、増設・移転 5件 計:78,000千円
・ R2年度:新設 9件 計:87,800千円
- ③ 【拡充】札幌圏設備投資促進補助 603,837 → 要求のとおり
R2年度より、札幌圏に立地した「データセンター」も補助対象とする
・ H30年度立地分:2件 計: 69,335千円
・ R元年度立地分:5件 計:534,502千円
- ④ 誘致広報関連・セミナー等 26,063 → 25,063 【査定】経費の精査

※オフィスビル建設補助制度は、アクションプラン期間中のR4年度までの申請とする。R5年度以降は、オフィスの需給状況等を踏まえて、制度のあり方を再検討。

【新規】オフィスビル建設補助制度の新設 ※歳出予算は、R3年度以降に発生
R2より、オフィスビル建設に対する補助の新設(オフィス部分の固定資産税の課税標準額×20%、上限10億円)
<<主な補助要件>> ・1フロアで貸付可能な面積が概ね660㎡以上であり、オフィスとして賃貸する部分の床面積が5,000㎡以上
・建替えの場合、建替前よりもオフィスとして賃貸する床面積が5,000㎡以上増加

分野	2 4	産業・活力 都市空間	目標	5 9	国内外の活力を取り込む街 世界都市として魅力と活力あふれる街	施策	1 4	世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開 活力があふれ世界を引きつける都心	政) 政策企画部 経) 観光・MICE推進部 (単位:千円)
----	--------	---------------	----	--------	-----------------------------------	----	--------	---	--------------------------------------

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
MICE施設関連	40,700 (40,700)	64,700 (64,700)	64,700 (64,700)		① 新MICE施設設計監修業務等	35,000	28,650	28,650	【債務負担行為】 新MICE施設整備 限度額:47,000 期間:R3~4年度
目的・取組内容					② 【拡充】運営事業者選定アドバイザー業務	0	20,350	20,350	
新MICE施設に関連する一連の検討業務及び新MICE施設の整備を契機とした、中島公園駅周辺地区のまちづくりの検討					③ 【新規】中島公園駅改修に係る予備設計	0	10,000	10,000	
					④ 中島公園駅周辺地区のまちづくり検討	5,700	5,700	5,700	
				計	40,700	64,700	64,700		

事業内容

経) 観光・MICE推進部

- ① 新MICE施設設計監修業務等 28,650 → 要求のとおり
MICEの企画運営事業者による設計監修業務や保留床価格に係る検証業務等
- ② 【拡充】運営事業者選定アドバイザー業務 20,350 → 要求のとおり
公募条件の設定に必要な管理運営に関する事項の検討
- ③ 【新規】中島公園駅改修に係る予備設計 10,000 → 要求のとおり
新MICE施設への利便性向上のための地下鉄中島公園駅におけるエレベーター及びエスカレーター設置に係る予備設計

※MICEとは

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、Meeting(企業内会議)、Incentive travel(報奨旅行)、Convention(国際会議・学会会議)、Exhibition(イベント・展示会)の頭文字をとったもの。

政) 政策企画部

- ④ 中島公園駅周辺地区のまちづくり検討 5,700 → 要求のとおり
中島公園駅周辺地区における先導空間(※)の整備方針を検討
※MICE・ホテル複合施設と中島公園北口部分
《想定スケジュール》

(年度)

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)
南10西3事業	設計各種手続	工事		ホテル棟しゅん工●	MICE棟しゅん工●		
中島公園駅バリアフリー	EV・ES予備設計			EV・ES実施設計	EV・ES設置工事	供用開始●	
先導空間	整備方針確定●		協議・設計・工事			事業完了●	

【総事業費】

新MICE施設

事業期間	事業費
H30~R8	約341億円

中島公園駅改修

事業期間	事業費
R2~R8	約20億円

分野 2	産業・活力	目標 4	北海道経済の成長をけん引する街	施策 2	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進	経) 観光・MICE推進部
------	-------	------	-----------------	------	----------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
都心における冬の アクティビティ創出	0 (0)	30,000 (30,000)	30,000 (30,000)		①【新規】実行委員会負担金	0	30,000	30,000	
目的・取組内容									
北3条広場におけるスケートリンクの設置									
					計	0	30,000	30,000	

事業内容

①【新規】実行委員会負担金 30,000 → 要求のとおり
北3条広場に、スケートリンクを設置

《費用負担の考え方》

(スケートリンク設置・維持管理90,000千円－利用料収入(※)22,500千円)
×1/2(大通西1丁目スケートリンクと同率)≒30,000千円

※利用料金収入は、大人2万人(1,000円/人)、子ども5千人(500円/人)と
想定

《想定スキーム》

【期間】12月中旬～2月中旬

【実施内容】

- ・一般開放
- ・ウインタースポーツ体験教室
- ・アイスショー
- ・夜間ライトアップ、プロジェクションマッピング

(参考)大通西1丁目スケートリンク来場者数の推移 (単位:人)

	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)
市民	7,589	8,386	4,562	5,321	4,050
市外(国内)			1,803	1,747	1,799
市外(国外)	418	647	971	1,090	899
合計	8,007	9,033	7,336	8,158	6,748

分野 2	産業・活力	目標 4	北海道経済の成長をけん引する街	施策 2	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進	経) 観光・MICE 推進部
------	-------	------	-----------------	------	----------------------	----------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
アドベンチャー ツーリズム推進	5,000 (5,000)	20,000 (20,000)	20,000 (20,000)		① ATWS開催に向けた 準備経費	5,000	12,000	12,000	
					② 【新規】コンテンツ推 進補助	0	8,000	8,000	
目的・取組内容									
アドベンチャーツーリズムを推進する国際会議(ATWS)のR 3年度開催に向けた準備やコンテンツ充実に資する事業の実 施									
					計	5,000	20,000	20,000	

事業内容

- ① ATWS開催に向けた準備経費 12,000 → 要求のとおり
 ■ 事務局運営費負担金 9,750
 R3. 9月開催予定のATWSの準備経費
 R1年度に2,750千円、R2年度に9,750千円を負担し、R3年度中に24,375千円負担予定

《負担割合(想定)》
 総額295,000千円(北海道運輸局の試算)
 ・ 国:自治体⇒1:1
 ・ 北海道:市町村(札幌市・釧路市)⇒1:1
 ・ 札幌市:釧路市⇒1:1

- 現地視察 2,250
 ATWSのR2年度開催地は、オーストラリアのアデレード(10/6～10/9)
 ATWSの開催手法や開催地のコンテンツ調査のための現地視察を実施

- ② 【新規】コンテンツ推進補助 8,000 → 要求のとおり
 定山溪を中心としたコンテンツを世界水準に引き上げる
 アドベンチャーツーリズムで求められる水準を満たすための改善事業に対する補助(補助上限2,000千円、補助率2/3、4件)
 (現時点の想定)
 ・ 外国人向けサインの整備
 ・ レンタル装備の増加
 ・ ガイドの育成 等

【参考】

※ATWSとは
 アドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーション(ATTA)が主催し、年1回開催されるアドベンチャー・トラベル推進のための国際会議・商談会

※アドベンチャー・ツーリズムとは
 「アクティビティ」、「自然」、「異文化体験」の3つの要素のうち2つ以上で構成される旅行形態のこと。

分野 2	産業・活力	目標 4	北海道経済の成長をけん引する街	施策 2	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進	経) 観光・MICE 推進部
------	-------	------	-----------------	------	----------------------	----------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
定山溪地区 魅力アップ	56,000 (56,000)	261,000 (261,000)	200,000 (200,000)		① 【拡充】イベント支援等 ② 【拡充】定山溪周辺環境整備 ③ 定山溪地区の人材育成 ④ 【新規】定山溪課題解決事業 ⑤ 【新規】定山溪地区情報発信 計	22,000 31,000 3,000 0 0 56,000	22,500 185,500 3,000 30,000 20,000 261,000	33,500 153,500 3,000 0 10,000 200,000	
目的・取組内容									
定山溪観光魅力アップ構想に基づく各種支援事業や周辺環境整備等の実施									
事業内容									
① 【拡充】イベント支援等 誘致促進事業に対する補助 各種イベントの支援 観光案内所運営委託等		22,500 3,000 13,000 6,500	→	24,000	→	33,500	【査定】事業内容の精査		
						雪灯路 1,500 雪三舞 2,000 ネイチャールミネリエ 9,500	→	20,500	
② 【拡充】定山溪周辺環境整備 修景支援補助の金額拡充 歓迎塔設置 定山溪周辺環境整備 ・温泉街コーディネート業務 ・トイレ・駐車場用地賃借・足つぼの湯再整備・湯の滝再整備・その他修繕		185,500 50,000 12,500 123,000	→	91,000	→	153,500 20,000 103,000	【査定】経費の精査	0 91,000	
③ 定山溪地区の人材育成 宿泊施設事業者等が地元の魅力を発信できるようセミナー等を実施		3,000	→	要求のとおり					
④ 【新規】定山溪課題解決事業 定山溪の課題解決に資するアイデアのコンペを実施し、事業化に向けた補助を実施 ・10,000千円×2件、5,000千円×2件、補助率:10/10		30,000	→	0			【査定】事業内容の精査		
⑤ 【新規】定山溪地区情報発信 定山溪観光協会への補助 定山溪地区の周遊促進につながるような情報発信等の実施		20,000	→	10,000			【査定】経費の精査		

分野 2	産業・活力	目標 6	産業分野の人材を育む街	施策 1	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	経) 雇 用 推 進 部
------	-------	------	-------------	------	---------------------	---------------

(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
さっぽろインターンシップ促進	0 (0)	20,000 (10,150)	20,000 (10,150)	特定財源 国庫支出金 9,850	①【新規】インターンシップ委託	0	20,000	20,000	【特定財源】 国庫交付金 地方創生推進交付金 (交付率:1/2) 【債務負担行為】 さっぽろインターンシップ 限度額:20,000 期間:R3年度
目的・取組内容									
学生の地元就職を促進するとともに、企業の採用力を向上させるため、連携中枢都市圏内の中小企業を対象としたインターンシップを開催									
					計	0	20,000	20,000	

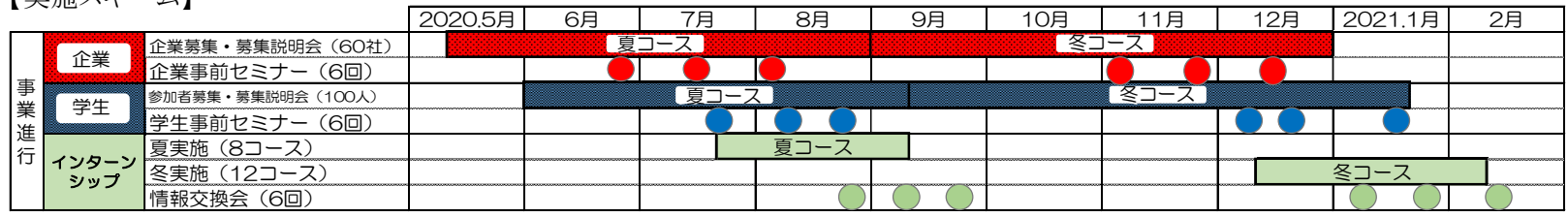
事業内容

①【新規】インターンシップ委託 20,000 → 要求のとおり
 インターンシップをパッケージ化することで、インターンシップ開催企業を増やすとともに、参加企業の採用力を向上させる
 若者が地元企業の魅力を感じることで、地元定着の促進を目指す

【事業内容】

- 時期・内容
 - ・ 1社あたり最大1日、1コースに企業3社、学生5人程度をパッケージ化(60社20コース、学生100人程度)
 - ・ 夏休み、冬休みの2期に分けて実施
- 企業向けの取組
 - ・ 受入企業は連携中枢都市圏内含めて60社程度、企業事前セミナーの実施
- 学生向けの取組
 - ・ 学生の負担軽減のため、移動経費として参加1日ごとに1,000円支給
 - ・ 終了後、情報交換会の実施

【実施スキーム】



(単位:千円)

事業名	元年度 予算額 (一般財源)	2年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
奨学金返還支援	0 (0)	3,000 (3,000)	1,000 (1,000)		①【新規】広報費	0	3,000	1,000	
目的・取組内容									
学生が就職した企業との共同による、地元定着を促すための奨学金返還支援の実施									
					計	0	3,000	1,000	

事業内容

- ①【新規】広報費 3,000 → 1,000 【査定】事業内容の精査
- ・新設した奨学金返還補助制度の実施に向けて、対象となる学生及び企業の募集
 - ・登録企業の検索機能を持ったウェブサイトの構築

■制度概要

市が認定する企業に就職した学生に対し、180千円×3年間の奨学金返還補助を実施
 ※補助支給は最短でR4年度の予定(R2年度:募集、R3年度:就職、R4年度:支給)
 ※財源は対象企業が1/2負担を想定

認定企業	①さっぽろ圏域内に本社を置く中小企業等、又は圏外本社でも圏域内にある事業所で働く者を採用する中小企業等 ②採用者支援額の1/2を寄附する企業等 ③採用者の申請受付(不備修正など)を責任をもって行う企業等 ※官公庁、学校教育、政治・経済・文化団体は対象外
対象者	①R2年度に大学、大学院、短大、高専、専修学校を卒業予定または、上記学校を過去3年度以内に卒業し、圏域内及び道外に住所を有している者 ②就職後、圏域内に在住していること ③認定企業等に正社員として就職すること
支援の条件	就職後1年以上経過し、奨学金を返還していること
対象人数	年間100人 3年間計300人 ※募集多数の場合は選考による
支援額	1人当たり、入社後年間18万円を上限に3年間支給

※認定企業及び対象者はすべての条件を満たすこと

【事業スキーム】

